

クロアゲハチョウのかんさつ

熊本市立帯山西小学校 3年 井上 絢菜

1 調べようと思ったわけ

庭で遊んでいたら、ミカンの木の葉っぱに黒い虫を見つけた。どんな風に成長していくのか、学校で習ったモンシロチョウとくらべて、調べてみようと思った。

2 方法

つかまえたよう虫をペットボトルに入れて、毎日ミカンの葉っぱをえさにして食べていく様子をかんさつして、写真にとって、かんさつ日記をつけた。

3 調べてみたいこと

モンシロチョウのキャベツの葉の時とちがって、クロアゲハのよう虫は、ミカンの葉をどこから食べるのだろうか？

4 準備したもの

かんさつかごをペットボトルで作った。2 L、280mL のペットボトルのふたに穴をあけた。

5 かんさつ

毎日、天気と気温を記録して写真をとって、様子を記録していった。

クロアゲハのよう虫は、モンシロチョウの幼虫と似ているところとちがうところがあった。葉っぱの食べ方やフンの形がちがっていることがおもしろかった。

さなぎからチョウになって、外に出した時、おしっこをいっぱいしていた。最後に木のほうに飛んでいくとき、家の庭の木に飛んで行った。

6 わかったことと感想

- (1) 毎日かんさつを続けてすごいなと思ったことは、食べる葉っぱと自分がいる葉っぱを分けていたこと。1枚の小さい葉っぱの上でまるまっていたからすごいなと思った。
- (2) 大変だったことは、虫かごをそうじしている時に、よう虫が肉角を出してくさくなったことです。ビニール手袋とマスクをつけてそうじをした。
- (3) よかったことは、毎日発見していっぱい記録することができた。

7 今度たしかめてみたいこと

- (1) よう虫は、どこに目があって、動く時どうなっているのだろうか。
- (2) 食べた後のフンの量や大きさはどう変わっていくのだろうか。

8 参考資料

科学のアルバム：モンシロチョウ、アゲハチョウ あかね書房 こん虫図鑑：学研